

りょう

良寛さん

かん

アンケート より

● 良寛さんがおっちょこちょいで面白かった。
最高に楽しめました。涙が出るほどおかしくて、
声を殺して笑い軽げました。

絵=今田まり

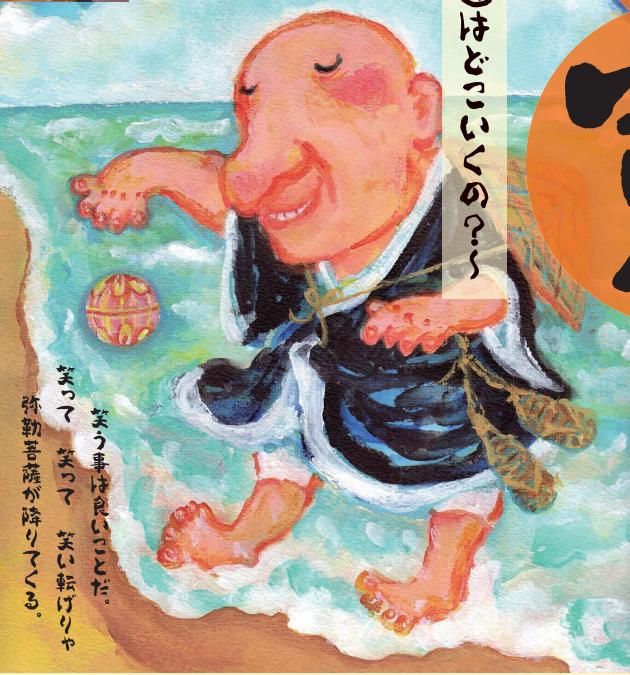
● 元気を頂きました。自然に、素直に、子ども達の
幸せを願つて生きたいと思います。平和が一番。
● パワーを頂きました！すごい動きです！コロナ、
戦争を忘れていました！笑いも涙もしました！

「アーティストはどこへいくの？」

作・演出・振付け
知念正文

佐久間秋一
音楽
雨宮賢明

かとう知恵理
照明



笑う事は良いことだ。

笑って 笑って 笑い軽けりや
弥勒菩薩が降りてくる。

若き僧、遍滻さんは15歳で、良寛さんに弟子入り志願。
しかし、良寛さんは、日本の僧侶？と言われながら、汚い格好、お寺を持たない、
お経も読まない泥棒に布団をくれてやり、自分は寒さに震えている。
出世やお金儲けはまるで頭にない…自然と共に生きていた。
子ども達と一緒に遊び、村人達と語り。
そして、今度はなんと40歳も年下の貞心尼さんと恋に落ちちゃった！
そこへ、大地震が…。
笑いと生きる力が溢れる舞台。ああ、良寛さんつて良いなあ！！
大人が、みんな、良寛さんみたいだったら、戦争なんておさない。

● 舞台には四本の（青竹）を配し、禪僧・良寛の（草庵）に見立てて、村人ども、弟子・尼僧などの交流がイキイキと描かれていました。座長の知念正文さんの脚本・演出・振り付けは冴え渡つており、雨宮賢明さんの音楽も楽しく、心躍ります！！
速いテンポで笑わせながらのダンス・ミュージカルは、絶技巧と演技力、身体能力の高さには改めて「ビックリいたしました！」

● 戦争・疫病の蔓延するこの暗い世相の中、病み上がりのこの私の身体にもとても良い刺激となりましたが、この「作品」がさらに多くの方々によつて鑑賞され、話題となつていく事を心から願つております！

劇団鳥獣戯画●1975年創立。ストレートプレイからミュージカルにコンサート、現代歌舞伎、狂言、人形劇に紙芝居、さらにはサーカス芸まで、何でもござれの世界で唯一無二の劇団。現代を見つめ、よりよく生きる、知恵と勇気と希望が湧く舞台を創り続けています。

劇団鳥獣戯画

〒358-0023 埼玉県入間市扇台4-4-3 TEL&FAX.04-2960-6000
詳しくはHPをご覧ください⇒ <http://www.chojugiga.co.jp>